



令和2年7月号

<7月の予定>

◎稽古時間: 木曜日・・・17:00～19:00(稽古場所は針ヶ谷小学校体育館)

- 4日(土) 6年生を送る会(大宮体育館剣道場) 15:00～17:00
- 11日(土) 通常稽古(大宮体育館剣道場) 15:00～17:00
- 16日(木) ここから大人の稽古参加可
- 18日(土) 14:00～ 役員会 稽古(本太中学校修道館)15:00～17:00
ここから17:00～19:00 修道館での稽古を再開
- 23日(木・祝) 稽古休み
- 25日(土) 定期総会(本太中学校修道館柔道場) 15:15～17:00

<8月の予定>

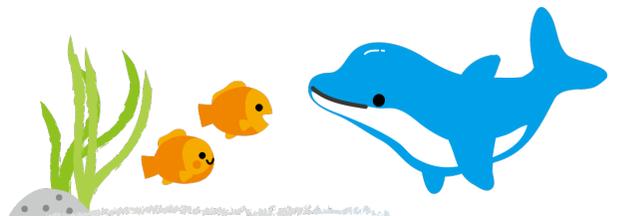
◎稽古時間: 木曜日・・・17:00～19:00(稽古場所は針ヶ谷小学校体育館)

土曜日・・・15:00～17:00(稽古場所は本太中学校修道館)

- 1日(土) 夏合宿中止により通常稽古
- 13日(木) お盆休み
- 15日(土) お盆休み
- 22日(土) 令和2年度前期昇級審査会
- 30日(日) OB合同稽古会(大宮武道館剣道場) 13:00～17:00

※状況により中止や稽古場所の変更があります。

詳細等はslackをご確認下さい。





本荘先生からのお言葉

7月になりました。いつもなら「もうすぐ夏休み、1学期のまとめを・・・」という時期ですが、今年は2か月間の1学期の半分を折り返したところ、なんか変な感じですね。いろいろな疲れが出る頃です。暑さに負けずがんばっていきましょう。

さて、何はともあれ**駒剣稽古再開**できました。この原稿を書いている時点で2回の稽古指導ができ、小学生会員全員の顔を見ることができました。4か月弱ぶりの再会でしたが、背が伸びた者、顔つきが変わった者、一人一人の成長を感じました。素振り、足さばき、エアでの打ち込みが主な稽古でしたが、この間の自主練で努力してきた様子ははっきりとうかがえ感心しました。大人の稽古も1回実施。面マスクをつけてあまり声を出さず短時間でしたが、稽古ができたことがうれしく、仲間と竹刀を交えることができる喜びをかみしめながら一本一本やらせていただきました。



今日は「6年生を送る会」です。2月まで一緒に稽古してきて急に会えなくなり、環境が変わり大人への階段を上っている中1生がどんな成長をしているか、考えるとうれしくなります。まだ試合ができる段階ではないのでセレモニーだけになりますが、巣立ちの儀式として一つのけじめをつけたいと思います。本来であれば駒剣関係者全員でお祝いし送り出したいところですが、この状況下でありますのでやむなく参加者の人数制限をさせていただきました。ご理解願います。6月25日（木）再開稽古日にも長谷部さんがやってくくださったオンライン配信、今回もやっていただきます。お楽しみに。いろいろと気を遣い大変な状況ではありますが、会員の皆さんが新しい試みをしてくださったり感染症防止対策に工夫を凝らしてくださったりで、たくさんの感謝する機会にも恵まれました。皆さんの稽古をしたいという気持ちと駒剣を大事に思ってくださいる心をあらためて感じるすることができました。

来週からは「ステップ2」の稽古となります。剣道具をつけ、徐々にではありますが面もつけて行います。小学生も面マスクを用意してください。面マスクは自分の口から出る飛沫を抑えるためですが、呼吸をするための酸素が吸いにくいという側面もあります。暑い中、呼吸困難や熱中症になる危険性があることを十分に認識し、こまめな給水と苦しいと思ったら無理せず面をとって休むことを徹底したいと思います。



前号の『べた褒め我が子紹介』最高でした。ほっこりしました。そうそう「7月号では**駒剣稽古再開**について書きたい」と言ったことが現実となりうれしいです。今月号では余計なことは書かずここで終わりにしたいと思います。再開にあたっての皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

新ジャイアンのはなつた♪



よっ！ みんな、元気か？

久しぶりに稽古が再開したけど、調子はどうだったかな？

ジャイアンも、マスクをして、マウスガードとアイガードして稽古してみたけど、すごく辛かった。自主練、さぼっていたせいだな。反省だ。

そして、稽古は再開したけれど、まだ、みんなと一緒に稽古できないのも、残念だったな。はやく一緒に稽古できるようになることを祈ってるぜっ！！

ところで、師範の先生の話によると、みんなすごく成長したんだってな。

自主練に取り組んだ人は、自主練の成果が出ているのかもな。

他方で、ひょっとしたら、実はジャイアンみたいに自主練サボってあせっている人もいるんじゃないかな。でも、そういう人は、あせらなくても大丈夫だぞ。勉強でも剣道でも、やりなおすことに遅いってことはないんだぞ。初耳学の林修先生みたいに、「いつやるか」、「今でしょ」と考えれば、仲間よりも遅れたってあせる必要はないんだ。思い立った「今から」一生懸命やるのが大切だぞ。そうすれば、必ず追いつくことができるぞ。だから、今からでは遅いなんて考えないで、稽古再開をきっかけに新しいチャレンジをしてみてくださいよな。

話は変わって、逆に、自主練さぼっていたのに、ちょっとうまくなったような感じで、あせってもいない人がいるかもな。勉強とは違って、剣道では、少し休むと、悪いクセがなくなったり、基本どおりにやろうとする気持ちが強くなって、上手になることがあるんだ。やすみなく剣道しまくっていると、悪いクセがついちゃうことがあるので注意だな。だから、ちょっとうまくなったんじゃないかな？って感じている人は、どこがよくなったのかを考えてみるといいぞ。左手がまっすぐあがるようになったとか、面を打った時に手がまっすぐ伸びるようになったとか、左足の引きつけが上手になったとか・・・

そうやって、自分の剣道を考えると、上達も早くなるぞ。

ところで、先月号では、おうちの人でも大変なんだから、協力して、お手伝いできる場所はお手伝いしようってお願いしたけど、みんなできているかな？稽古の合間に床を掃除してくれているお父さん、お母さんを良く見てくれよな。ほかにみんなが元気に稽古できるようにお父さん、お母さんたちは、いろんなことをしてくれているぞ。普段に比べると、何倍も大変だと思うぞ。だから、少しでも感謝の気持ちをあらわされるといいと思うぞ。人っていうのは、ちょっとしたことで大きくかわることができるんだ。「えー、めんどくさい」なんて言ってないで、なにかひとつやってみよう。そうすれば、きっとすごく気持ちが良くなるはずだし、その気持ちがおうちの人にも伝わるはずだぞ。

えっ？何時やればいいのかって？

「今でしょ。」

元気なみんなと竹刀をあわせることを楽しみにまってるぞ。

じゃあ、またな！



太郎の百錬自得



第 75 回

6月25日からついに駒剣活動再開となりましたね。慣れるまでは前半と後半の2班に分けての稽古ですが、針ヶ谷小でみんなに会うことができ嬉しかったです。当日は4ヶ月ぶりの再開ということ、錬成部はまだ子どもたちと一緒に稽古ができないということで、ライブ配信をしました。延べ100名以上の方がみていただいたようですし、リアルタイムでみてコメントをくださった会員さんも複数いらっしゃいました。六送会も同様なライブ配信を計画していますので、ぜひ会場にいらっしゃれない方はご覧いただければと思います。4ヶ月ぶりにみんなに会って、成長と自主練の効果がしっかり出ていることに驚きました。継続は力なり、といたしますが、目の当たりにした気持ちです。これから徐々に面をつけた稽古になっていきます。暑くなるぶん、熱中症にも気をつけて稽古していきましょうね。一方、錬成部の稽古も6月27日、サイデン化学アリーナで再開しました。面マスクをつけての稽古、4ヶ月ぶりの稽古ということで、休憩をこまめにしながらの稽古でしたが、想像よりも体力的にキツかったです。一番感じたのは、剣道ってこんなに汗かくっけ？ということです。剣道の稽古における消費カロリーは、1時間あたり、女性で350kcalほど、男性だと466kcalということです。剣道は、腕や肩も使う全身運動ですので、バランスも良い鍛錬になると改めて思います。問題は、稽古の後の

水分補給をしすぎることでですね。子どもの頃も稽古後スポーツドリンクいくらでも飲めましたし、今は今でビールが美味すぎて大変です。6月27日の稽古後もここ数ヶ月味わえなかったビールの味でした。このビールが飲みたくて稽古している大人が多数いるのは事実です。またコロナの感染者が増えていることが心配です。自粛生活に逆戻りとならないように、感染対策はしっかりとって生活していきましょう。それでは。



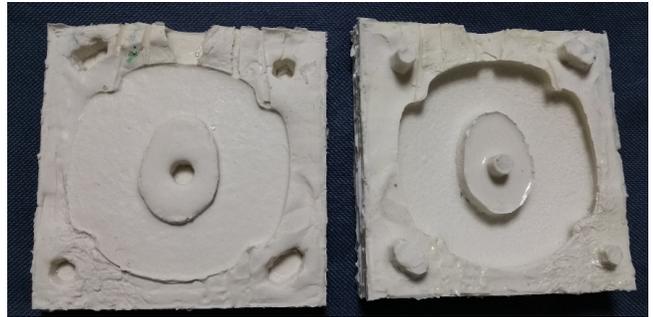
卒業生への鐔の作り方2

渡辺良平

やっと稽古が再開しましたね。みんなの元気そうな姿をみてとても嬉しかったです。また、しっかりと自主練に取り組んでいたのが良く分かり感心しました。

今回は「卒業生への鐔の作り方」の第二で、「作成編」になります。では、早速説明を始めます。

①の写真は今回使用した型です。記念品の鐔を作るにはエポキシ樹脂を流し込んで成形するための型がないと鐔は作れません。型はメス型(左)とオス型(右)の二つの型で1セットになっていますが、この型へ樹脂を流し込んだり、紅葉を入れたりします。写真で分かるように、オス型の方が深くなっています。このオス型の中へ樹脂を流し込んだり、紅葉を入れたり、ガラスクロスを入れたりします。



①型はメス型(左)とオス型(右)で1セット

この型がきれいに、ちゃんと作られていないときれいな鐔は作れません。

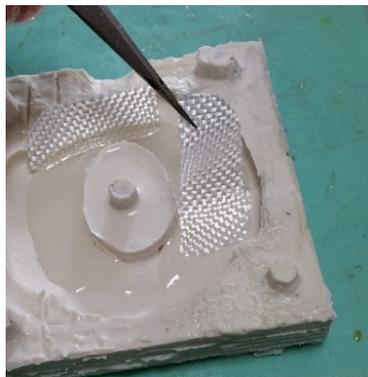
型の作り方は、「企業秘密」ね！

それでは、さっそく鐔を作って行きましょう！

- ② 準備編で用意したエポキシ樹脂と硬化剤を2:1で混ぜ合わせた樹脂をスプーンを使って型の半分くらいまでゆっくりと型の中へ流し込みます(約 10g)。型には6月号で説明したシリコンスプレーが吹きかけてあります。
- ③ 樹脂を流し込んだ後に、小さく切ったガラスクロス(1.5×3cm 程度)を先に流し込んだ樹脂の上に置いて行きます。軽く抑えると樹脂がガラスクロスに浸み込んで透明になります。チョッと分かり難いかも知れませんが、左上の方のガラスクロスは樹脂を吸って透明になってきています。
- ④ 透明になったガラスクロスの上に紅葉をおいて行きます。一旦、樹脂の上に置いた後で、ゆっくりと優しく、ていねいに紅葉を樹脂の中へ沈ませます。紅葉は押し花をしてパリパリ状態で簡単に破れたり、欠けたりするのでていねいに扱います。



②樹脂を流し込みます。



③ガラスクロスを入れます。



④紅葉を入れます。

- ⑤ 紅葉を樹脂の中に沈ませたら、また樹脂を流し込みます(約 10g)。
- ⑥ 樹脂を流し込んだら、またガラスクロスを入れます。優しく押さえて樹脂を浸み込ませます。3~4枚重なるように全面に入れます。
- ⑦ ガラスクロスが透明になったら、残りの樹脂を全部流し込みます(約 10g)。



⑤樹脂を流し込みます。



⑥ガラスクロスを入れます。



⑦樹脂を流し込みます。

⑧ ゴミやほこりが入らないように型の上に板を置いて約 12 時間じっと指をくわえて待ちます。この間、触らないように！ 中途半端に固まっている時に触ると触った跡が残る。

(夏は 12 時間で固まりますが、冬は 24 時間くらい待ちます。)

⑧で作成編の半分は終了です。次は 12 時間後！

翌日

⑨ 12 時間後、しっかりとカチカチに固まっています。(12 時間たてば 24 時間後でも、一週間後でも一年後でも大丈夫です。)固まっているので、型をもんだり、いじくり回したりすると中身が取れるので注意する。型から外れてしまうと初めからやり直しになります。

⑩ メス型を合わせます。

⑪ 板 2 枚と輪ゴムを使用して合わせた型をしっかりと固定します。

⑫ 準備編で説明した、エポキシ樹脂と硬化剤を再度 2:1 で計量してしっかりと混ぜた樹脂を 15g 用意します。

⑬ 樹脂を型の中へ少しずつ、ゆっくりと流し込みます。また 12 時間待ちます。



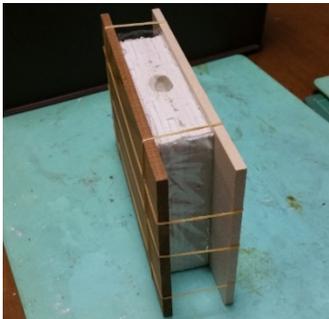
⑧フタをします。



⑨固まってます！



⑩型を合わせます。



⑪しっかり型を固定する。



⑫再度 2:1 で用意する。



⑬樹脂を流し込みます。

これで、「作成編」は終了です。来月は、最後で「仕上げ編」です。

威風胴々 no.2

清水 聡

胴台の素材の種類によって、「樹脂胴（ヤマト胴）」、「ファイバー胴」、「竹胴」、の3種類あることを前回、お話ししました。胴を眺めて最初に印象を左右する大きなポイントは胴台の色や柄ではないかと思えます。胴台の表面は、様々な仕上げ加工により作られています。

清水流に大別すると、『塗る』、『貼る』、『編む』です。樹脂胴では最初から樹脂にいろいろな材料を溶かして混ぜて固めたり、機械でプリントしてしまうものもありますので、今回は特に竹胴にフォーカスした『塗り』のお話です。

塗る材料は天然漆になります。皆さん、漆の木をご存じですか？

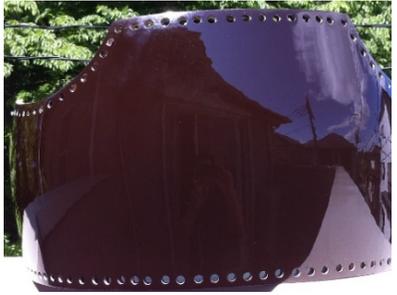
原産地は日本で、昔は日本中にあったそうですが、近年ではすっかり数が少なくなってしまい、現在では岩手、秋田等の一部の地域でしか育てられていません。右図は岩手県のWebサイトから利用させていただいた、漆林の写真です。この木の革を傷つけて取る樹液が『漆』です。何と縄文時代（9000年も昔！）から、塗料や接着剤として使用されているのです。接着剤？と思うかもしれませんが、現在でも陶器の器が割れた時の修理には接着剤として使われています。植栽後、15～20年経過した木から200ml／本しかとれない貴重な材料です。漆は、固まると水をはじいて永久的に腐らない皮膜を作ります。酸や塩分、アルコールも強いのです。



塗料は、乾かないと固まりません。一般的な塗料は、乾燥している空気に触れるほど早く固まります。漆はその反対で、湿気がないと固まりません。漆の成分が水分と酸素と反応して固体に変化するのです。ちょうど今は梅雨時期なので漆塗りにはぴったりの季節です。漆職人は、「むろ」と呼ばれる専用の乾燥室（密閉できる棚）を持っていて、棚板には濡れた布などを置いています。

漆の色は、濃くははっきりした色が多いです。朱色、緑、黄色などの色もあります。元々は半透明の茶色っぽい色で、顔料を混ぜることで色を変えることはできますが、淡い色は作れません。雪の様に白い色も作れないのです。でも、漆と言えば黒。何といても黒。これは「漆黒」と言われるように他にはない黒なのです。生成の段階で鉄粉を混ぜて、酸化作用で漆が黒色に変化したものです。漆工芸品では「輪島塗」や「津軽塗」等がありますね。それらの工芸品を見ても黒色の作品が多数あるのがわかります。

では、胴台になぜ漆を塗るようになったのでしょうか。竹胴は、厚さ5mm程度、幅は10～15mm程度の細い短冊状に削った竹を何本もドーム状に組んでから、表面に水牛の皮を貼って作られます。おそらく漆の特性を知っていた日本人は、更に耐久性を高めるために利用したのでしょう。そして漆塗り職人により、工芸品で利用されていた芸術的な加工が胴にも施されるようになったと思えます。では具体的にどのような塗りがいいのか、私の好きな塗りの胴台を紹介します。もしかしたら皆さんがお使いの胴があるかもしれません。

溜塗り	<p>見た目は一色のムラのない色に見えますが、半透明の漆を何度も重ねて塗るので、深みがあり、光の反射次第で、微妙な濃淡があるように見えます。前回、竹胴のリメイクで紹介した胴はこげ茶色の溜塗りです。</p>	
乾漆塗り	<p>漆を塗って乾かないうちに乾燥した漆の粉を撒いてから漆を重ね塗ります。サンドペーパーの様に表面がざらざらしていますが、酷使したサンドペーパーの様にへたることはありません。とても硬いです。粉の粒のサイズにより、風合いが変わります。</p>	 <p style="text-align: center;">※</p>
梨地塗り	<p>漆を塗って乾かないうちに金粉や銀粉を撒いてから半透明の漆を重ね塗りしたものです。塗装の奥深くでキラキラ光る細かい粒子が梨の肌みtainなので名付けられたようです。赤系、オレンジ系の色が多いですが、銀粉を使うとスパルタンな雰囲気 of 胴になります。</p>	 <p style="text-align: center;">※</p>
虫喰い塗り	<p>下地の漆をわざと凸凹状態で塗り、その上から別の色の漆を塗り、研磨することで凸の山部分が削れ、そこから下地の色が見えてきます。あたかも虫に食われたような模様なので名付けられたのでしょうか。気持ち悪い名前にも聞こえますが、少し離れて見ると意外に地味に見える柄です。</p>	 <p style="text-align: center;">※</p>
桜皮塗り	<p>山桜の樹皮に似せた塗り方です。実物の皮を利用した工芸品(樺細工)がありますが、実物そっくり塗る技法を昔の職人さんが考えたのだと思います。錆漆という漆に砥の粉を混ぜたものを使います。</p>	 <p style="text-align: center;">※</p>

<p>黒塗り</p>	<p>最もポピュラーですよ。やはり、漆の黒は美しくて強固だからだと思います。何度も重ね塗りと研磨を繰り返して完成されるものです。実際、飽きることがない胴だと私は思います。</p>	
<p>黒呂塗り</p>	<p>黒は黒なのですが、蠟のようなしっとり感をもっていて、更に鏡のような光沢を発する黒です。表面の研ぎ出しには通常、木炭を使いますが、最高級の目の細かい木炭を使って仕上げています。あまりに美しすぎて、傷つけるのが惜しいくらいです。</p>	 <p style="text-align: center;">※</p>

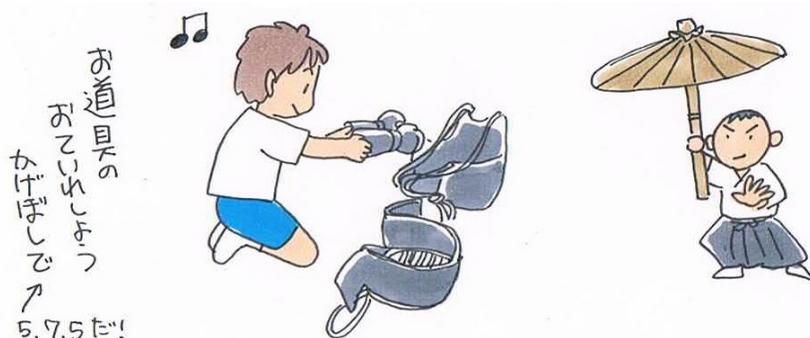
他にも沢山の塗り方があります。胴の漆塗りは、完成までに相当な工数と時間を費やして作られています。工芸品と言っても良いくらいの価値があると思います。でも使用しないでしまっておくのは一番もったいないと思います。稽古で使い込んでいくうちに傷はつきますが、その傷もその胴の風合いだと思います。

天然漆は扱いが難しいので、私はホームセンターで入手できるカシューという人工漆を使います。天然漆に比べれば強度は劣りますが、手軽に利用できるのもとても楽です。

新品の胴を入手した時は、その艶やかさをできるだけ長く維持したいと思う方もいらっしゃるかと思います。私もそうですf(´_`´)。そんな人におすすめのグッズは、仏壇専用艶出しクリームです。1000円以下で色々あります。乾漆塗りなどのザラザラや凸凹のある胴には向いていませんのでご注意ください。

ではまた次回に。

※写真は Facebook 「剣道具大好き倶楽部」 から引用



わたくしが剣道と出会った頃

おかげさまで第3弾を迎えることができました。今月号もご寄稿いただき感謝感謝です♡

村松さん

私は、東京の多摩ニュータウンで子供の頃を過ごしました。小2の時、幼なじみが剣道を始めるとのことから、なんとなく東京都多摩市の永山剣友会（永剣：ジャイアンこと齋田さんが所属していた若葉剣友会とはライバルでした、世間は狭いですね）に入りました。稽古では、名物の掛り稽古でよく体育館の床にヘッドスライディングさせられました。その時の同級生は10人程度で、日曜日の稽古が終わって、友達同士で遊ぶことの方が楽しかったです。高校に進学すると、みな別々になりましたが、各剣道部に必ずと言っていいほど、剣友会の同級生が居たことは、励みになりました。高校では毎日の練習のほかに、週末には東京・神奈川の高校と練習試合が生まれ、常に剣道にどっぷりつかっていました。メンバーにも恵まれ、都大会ベスト16でした。その中で一番衝撃を受けたのは、K士館高校との公式戦、風が通り過ぎたと思ったら、面を取られ2本負けした試合でした（相手は、矢野雅之先生、現永剣師範）。駒剣入会後に、指導者の事を知り、自分自身何かの縁だと感じ、長男（当時中1）と共に永剣に通い指導を受けました。幸運にも、自分が幼少期に通った剣友会に、子供と一緒に通える機会を得ることができました。そこでの教えは、「正しい剣道をして勝つ」「さがってどうする」、1つ目は駒剣の教えに通じています。2つ目はどうですか？駒剣士のみなさん、気持ちの部分で負けていませんか？

稽古が再開された時には、是非とも「さがってどうする」を意識できるよう、一緒に楽しみながら稽古しましょう！！

齋田さん

ジャイアンです。私と剣道の出会いは中学の部活が最初ですが、その頃、私は剣道がどんなものかも知りませんでしたし、従って、好きではありませんでした。でも、無理矢理、剣道をさせられることになりました。

私は過疎の村で育ったのですが、中学1年の時の男子生徒は5名で、全員が入らなければならぬ部活動は、男子、女子ともそれぞれ1つしかありませんでした。そして、どういうわけか、その前年に全日本に出場した剣道錬士6段の先生が中1の4月に赴任してしまったのです。

前年まで男子はバスケット部だったのに、すぐさま男子バスケット部は、男子剣道部になってしまいました。

4月から剣道を始め、6月には大会です。私たち2名の1年生を含め男子は5人しかいないので、全員選手です。もちろん、6月の大会は、個人、団体とも全敗でした。

3年生2人が卒業し、翌年、剣道部は3人になりました。3人が全員勝たないと団体戦は勝てません。それでも予選リーグでは1勝をあげることができました。

3年生になり、1年生男子が2人入ってきて4人。私を含め3年生の2人が2勝すれば、あとは引き分けで何とかあります。予選リーグ副将（大将はいません。）の私は全勝し、チームとしても健闘しましたが、残念ながら決勝トーナメントへの出場はかないませんでした。なお、個人は、ベスト16で県大会出場ならずでした。

はじめは、いやいや剣道を始めました。先生は、目つきは鋭く、声は潰れていて、とても怖く、体育館の壁や、体育館の外の土手に追い詰められたり、防具をとられてプールの中に落とされたりしたこともありました。今なら大問題ですね。

でも、私の人生の中で、もっとも尊敬できる先生です。大学生になって、久しぶりに先生と竹刀を交えたときの感動を今でも思い出します。そして、剣道と出会わせてもらえてとても感謝しています。



お稽古再開！学校再開！



まだまだコロナウイルスへの心配はありますが、分散登校を経て学校も再開しました。それに伴い、針ヶ谷小学校、サイデン化学アリーナを使用してのお稽古もついに再開！学校でも駒剣でも友達と久しぶりに会うことができました。嬉しいね、みんな♪

秋本くん 久しぶりにみんなに会えて嬉しかったが、近くで喋ることができず残念…。だが、今は我慢して、稽古に励んでいきたい！【55文字】

加藤くん Q:久しぶりの学校はどうですか？
A:友達と会えて嬉しい！楽しい！先生から直接授業を受けられるのがいい！
Q:みんなとやりたいな—と思うお稽古はなんですか？
A:始まる前は皆とお稽古できるなら何でもいい、と思っていたけれど、実際に皆と会ったら、切り返しがやりたい！と思いました。

上岡くん 僕が皆とやりたい稽古は「スーパーかかり稽古」です。今は出来なくても、いつかやりたいです。

俵くん 久しぶりの学校は懐かしい感じがしました。友達と会えたので嬉しかったです。駒剣のみんなとも久しぶりに会えて嬉しかったです。やってみたい稽古はスーパーかかり稽古がしたいです。

廣江さん 木曜日に久しぶりに剣道を再開しました。今まで家で素振りをしてきたけど、剣道着を着てみんなで素振りをやると、家でやる時よりも、ずっとやる気が出てきて楽しかったです。木曜日も土曜日も足さばきの練習の時に左足が右足より前にならないように気を付けました。

宮島さん 私は稽古が始まるのをずっと待ち望んでいたもので、再開できてすごくうれしい気持ちです。
再開して以前より少し足さばきが遅くなっているように感じたので、もっと動けるように意識して家での自主練に取り組みたいです。
これからも基本しっかり身につけ悪い所を直しながら、駒剣での最後の1年を全力でがんばりたいです。

百木くん 自粛中は早くもとの生活に戻りたいと思っていたけれど、自粛解除になったら、学校や習い事など、休んでいた分急にやるが増えて毎日疲れるなどと思う。剣道の稽古は久しぶりだったので、ついていけるか心配だった。けれど、苦しくてもみんなとできて良かったなと思った。

森岡くん お稽古再開の初日を終えて、駒剣の友達と久しぶりに会えてとても嬉しい気持ちになりました。普段着で竹刀を振っていた時に比べ、稽古着を久しぶりに着たら、動き辛さを感じましたが、気持ちがとても引き締まることを実感しました。家では竹刀を振ることばかりだったので、足さばきを特に力を入れてお稽古したいです。

岩田くん みんなとやるお稽古はとても楽しく嬉しかったです。早く、打ち込みをやりたいです。

小澤くん 学校が再開して、みんなに会えて良かったなと思って、また、校庭で遊べたりして嬉しかったです。剣道でやりたいことは、先生やみんなと地稽古をする事です。



- 小島くん 学校は、みんなと会えて話せるし遊べるから楽しいです。駒剣のみんなとやりたいことは地稽古です。なぜなら、いつも一人でやっていたので、色んな人とやりたいからです。
- 品田くん 久しぶりのお稽古では素振りだけでしたが、本荘先生と一緒に稽古できて嬉しかったです。みんなと防具をつけて切り返しをやりたいです。
- 柴田くん 約4ヵ月ぶりに、みんなとお稽古ができてうれしかったです。一人でやる自主練とは違って、気合いが入りました！
まだお稽古は少しずつしかできないけれど、早く試合や掛かり稽古などがしたいです。これまでの自主練を生かして、頑張りたいと思います。
- 矢嶋くん 久しぶりの学校について
4年のクラスの友達もいるし、新しく友達になった子もいて、毎日楽しいです。担任の先生もいい先生です。
- 小野塚くん
(兄) 学校は友達と会えてむっちゃくちゃ楽しい。
駒剣は前のように防具をつけて竹刀を振りたい。
- 高山くん 今まで形の稽古をやったことがなかったので、少しずつやっていきたいと思います。
- 並木くん 久しぶりの学校はとても楽しいです！
早く地稽古をみんなとやりたいです！
- 廣江くん ぼくは、久しぶりに剣道がやれてうれしかったです。少し疲れたけど、俵くんや佑聡と久しぶりにしゃべれてうれしかったです。けい古の時間は短いので、気をゆるめないで、一本一本ていねいにやろうと思います。
- 宮島くん 僕はけいこが再開するのをとても楽しみにしていました。
いまはまだだん通りにできないけれど、けいこができてうれしいです。
これから、少しずつ体の動きをもとにもどして行って、はやくふつうのけいこにもどりたいたいです。
面をつけての技のけいこやじげいこが楽しみです。
- 百木さん 学校は、毎日疲れます。友達に会えるのは楽しいけれど、あまりおしゃべりしたり、遊んだりできないので残念です。稽古は久しぶりで、まだすぐに苦しくなってしまうけれど、楽しいです。
- 小野塚くん
(弟) 2年生になって九九を覚えるのが楽しい。
休み時間になわとび100回飛べた！
駒剣ではみんなと素振りをするのが楽しみ！！
- 葛西さん 娘が久しぶりの稽古に参加し、稽古の後の帰り道で、早素振り100本を人生で初めて（まだ7才ですが）やったことにとっても興奮していました。
きっと最後の方は付いて行けてなかったのではと想像しますが、こんな時ならでは稽古に娘も少し自信が付いたようです。（父）



…という気持ちでいっぱいですが、久々のお稽古！
次のページを改めてよく読んでね。



立派な剣士になるために!

BEGIN THE BEGIN ♪

竹刀やみ道具を
ふんたり
またいたりしない!!

竹刀は
マジックハンドで
つかうぞ!!

竹刀は
杖じゃないぞ!

カバによかかってNG.

通路で
ふりまわ
さない!!

竹刀や
面をおくときは
なるべく音を
たてない!

床(道場も)
きおつけなように...

お道具をあこの
おけこたものな。
大事にしなうー

お話を聞くときは
手は七サ。
話す人の方を
向いて
きこうね。

ちゃんと返事を
たえよう!!

はい

石井のetc日記だよ～

